

校歌祭実行委員会(第1回)検討項目議事録

日 時 : 平成 29 年 10 月 30 日(月) 14:00~16:15

場 所 : 戸塚総合庁舎 3 階「102cafe」

出席者 : 土屋 功 (5 期)、高井 富美子(13 期)、三原 弘充(13 期)、中野 修二(5 期)

検討項目

1 校歌祭参加の絶対条件の周知徹底

校歌祭本部事務局 堀 総務役員より三つの条件の必要性を説かれたことを認識する。

① 同窓会(柏陽は柏樹会を指す)の組織が盤石であること。

具体的には、本部事務局からの指示、連絡事項を確実にこなし、校歌祭の責任者を決め、年 4~5 回行われる会議、並びに本番のアシスト要員の提供を履行すること。

② 学校側との緊密な連携を保つこと。

学校の理解、協力を得られないとこの活動は続けられない。(具体的には施設の提供等)

③ 予算の確保

年 1 回の出場であるが、出場のみで 4 万円の経費を要する。

練習などの諸経費も見込まれるので、予算措置を確実に行うこと。

【今後の対応】

三つの絶対条件を 11/26(日)の 50 周年記念実行委員会へ提示して共有の理解を得る。

2 委員会の連絡体制

・校歌祭実行委員会は、委員会自体の会議の他に、平素から LINE やメールで意見を取り交わし、それを基に委員会活動を展開する。

・土屋委員長(以下「委員長」とする。)が各委員の意見、要望を吸い上げ、委員の合意を諮って委員会の見解を集約する。

・田中会長並びに柏樹会齋木事務局長(以下「事務局長」とする。)に対しては、基本的に委員長が委員会を代表して、報告、連絡、相談していく体制を確立する。

【今後の対応】

・実行委員会で合意した内容を委員長が田中会長へ報告する。

・12 月 16 日(土)の合唱練習日の学校への依頼を事務局長にお願いする。

時間は 14:00~17:00 場所は本館 2 階会議室 楽器は電子ピアノ 1 台

3 参加者を拡大していく方策

① ホームページ及び Facebook の活用

次回の合唱練習日→ 12 月 16 日(土) 14:30 受付 15:00~17:00 本館 2 階会議室

※ 14:00~15:00 は、顧問の櫻井・鈴木両先生並びに千葉厚・朋子様ご夫妻及び浅野様、中島様その他音楽専門の卒業生のブレーンの顔合わせを実施する。

② メーリングリストに掲載されている役員及び各期幹事(約 70 人)に対する依頼

情報を入手していくことにより関心をお持ちの会員を増やしていく

③ 合唱部出身者に対する周知方策

まずは人伝で芋づる式に掘り下げていく。

4 本番までの練習計画

具体的な計画は、現段階では保留とする。

会場は、学校施設では、基本的に電子ピアノを借用し、会議室で行う。

12月16日(土)、先生方にお会いする際、次の案件をご相談させていただく。

- ① 音響設備のない環境における合唱練習の可否
- ② 学校が利用出来ず外部施設を借りる場合について、予め調べておき、ご相談する。

5 50周年記念実行委員会(11/26)に提案すべき事項

- ① 校歌祭参加の絶対条件の提示
- ② 第2回合唱練習日(12/16)の告知
- ③ 母校音楽室利用について、学校からの利用条件を教えて欲しい。
会議室を借用する場合は、携帯可能な電子ピアノをお借りする。
会議室を借用出来ないときは、ピアノのある施設を検討する。
- ④ 参加者の現状報告と今後の拡大方策に対するお願い
- ⑤ 予算上申の具申
 - ・今年度予想経費の具体的な上申 → 楽譜購入費@324×50人=16,200円 予備費で計上出来るか。
 - ・来年度予想経費の具体的な上申 → 「校歌祭参加経費」という新たな費目を具申する。
参加費及び付随経費 40,000円、謝礼、
統一シンボル(例…スカーフ、鉢巻)共用分他会場借用料、消耗品代

6 第2回合唱練習日(12/16)までに行うこと。

- ① 鈴木夏美先生への事前対応
→ 会長名による手紙を送る。
- ② 合唱指導、ピアノ演奏者等ブレーンへの事前対応
 - ・ 千葉厚様・千葉朋子様(ご夫妻で8期)への対応
→ 実行委員長名による手紙を送る。
 - ・ 浅野様(17期)、中島様(17期)への対応
→ 実行委員長名による手紙を送る。
- ③ 「切手のないおくりもの」の楽譜購入その他今後の対応
11/26に楽譜購入などの問題を提起する。
- ③ 応援歌の楽譜を入手していくための対応
あらゆる文献を探して実態を解明する。楽譜がない場合は応援歌を歌える卒業生に参加を促すことも検討する。

7 参加者リストの作成

校歌祭の情報を周知し、個別に理解を求め、メルアドを提供していただくようお願いする。